

令和2年度科学研究費助成事業「新学術領域研究（研究領域提案型）」に係る事後評価結果

領域番号	3701	領域略称名	リポクオリティ
研究領域名	脂質クオリティが解き明かす生命現象		
領域代表者名 (所属等)	有田 誠 (国立研究開発法人理化学研究所・生命医科学研究センター・チームリーダー)		

(評価結果)

A (研究領域の設定目的に照らして、期待どおりの成果があった)

(評価結果の所見)

本研究領域は、細胞組織の脂質の詳細なタイプ、特に脂質クオリティに焦点を当て、脂質精密分析の高度化を核に、生化学、質量分析、イメージング、疾患メタボローム解析、構造解析など多様な分野を結集して脂質の新機能の発見と生命現象の理解の深化を目指した独創的な研究を推進した。

領域代表者の強いリーダーシップの下、脂質多様性を解明するための脂質の網羅的ノンターゲット解析システムの開発と実用化を実現し、脂質研究が期待通りに進展して大きな成果を上げた。特に、様々な種類の脂質が受容体を介してシグナル伝達因子として機能していることを解明したことは特筆すべき成果である。4つのセンター（質量分析、脂質イメージング、膜機能解析、臨床検体）を設け、研究リソースを共有かつ技術支援することで、個々の計画研究や公募研究が有機的に連携して高いレベルの融合研究成果を上げるに至った。また、脂質研究分野の若手研究者育成、国際的な成果発信などの充実した領域活動も評価に値する。

今後は、本領域研究で開始された融合研究や、領域研究を通じて発見された多種の脂質メディエーターの研究を継続的に発展させるとともに、臨床や創薬等の応用面への新しい展開を期待したい。